



戦略的ロードマップのアップデートおよび 2015年度第1四半期 連結業績の概要

クリストフ・ウェバー 代表取締役 社長 CEO
ルドルフ・ファン・ハウテン チーフ フィナンシャル オフィサー代行 / グループフィナンシャルコントローラー

2015年 7月30日

武田薬品工業株式会社

重要な注意事項



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

製品情報に関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報には、武田薬品の製品についての情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではありませんし、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。また、本発表において提供される資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。



実質的な成長

- 「**実質的な成長**」とは、実際の事業活動のパフォーマンスを把握することを目的として、当期と前年同期の業績を共通の基準で比較するものです。
- 「**実質的な成長**」の算定にあたっては、為替影響や製品売却、企業買収にかかる会計処理の影響や無形資産の償却費・減損損失、事業構造再編費用、主要な訴訟費用などの特殊要因を除いています。
- 当社は売上収益、Core Earnings、Core EPS の「**実質的な成長**」をマネジメントガイダンスとして示しております。

Core Earnings と Core EPS の定義については Appendix をご参照ください。
これらの指標は会計基準に基づくものではなく、内部管理目的の指標であり、監査を受けておりません。



戦略的ロードマップのアップデートおよび 2015年度第1四半期のキーハイライト

戦略的ロードマップのアップデート



VALUE	<ul style="list-style-type: none">• タケダイズム 患者さん中心 → 社会との信頼関係構築 → レピュテーション向上 → 事業の発展
--------------	--

日本における
医療関係者向け
広告資材等の
審査体制強化

PEOPLE	<ul style="list-style-type: none">• 患者さんとカスタマー中心• 人材を育成するグローバルで機動的な組織
---------------	--

グローバル
人材開発
プログラム

R&D	<ul style="list-style-type: none">• 集中した世界レベルのイノベーション推進
----------------	---

イキサゾミブ

BUSINESS PERFORMANCE	<ul style="list-style-type: none">• 持続的な売上成長 消化器疾患およびオンコロジーでのリーダーシップ とイノベティブな新製品 新興国におけるバリューブランドの活用• 成長をもたらす財務規律
-----------------------------	---

エンティビオ、ベルケイド

年間ガイダンス
に変更なし

2015年度第1四半期の業績ハイライト 年間ガイダンスに変更なし



売上収益: 4,463 億円 +8.5%

売上収益の実質的な成長: +6.1%

- ✓ 革新的な新薬とバリューブランドによる力強い成長

営業利益: 496 億円 △22.2%

Core Earnings の実質的な成長: 横ばいの△0.1%

- ✓ 販売費および研究開発費が第1四半期に増加
- ✓ 第1四半期の営業費用比率が年間傾向を示すわけではない
- ✓ Project Summit は順調に進捗

EPS: 31 円 △26.1%

Core EPS の実質的な成長: 横ばいの+0.0%



損益計算書(財務ベース)

損益計算書(財務ベース)



(億円)

	14年度 第1四半期	15年度 第1四半期	増減
売上収益	4,111	4,463	+351
売上総利益	2,931	3,252	+321
販売費	996	1,154	+158
一般管理費	370	463	+93
研究開発費	752	810	+58
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	308	334	+26
その他の営業収益	241	74	△167
その他の営業費用	111	70	△41
営業利益	637	496	△141
税引前四半期利益	600	487	△113
四半期利益	334	246	△88
EPS	42 円	31 円	△ 11 円



実質的な成長：売上収益

売上収益の財務ベースから実質ベースへの調整

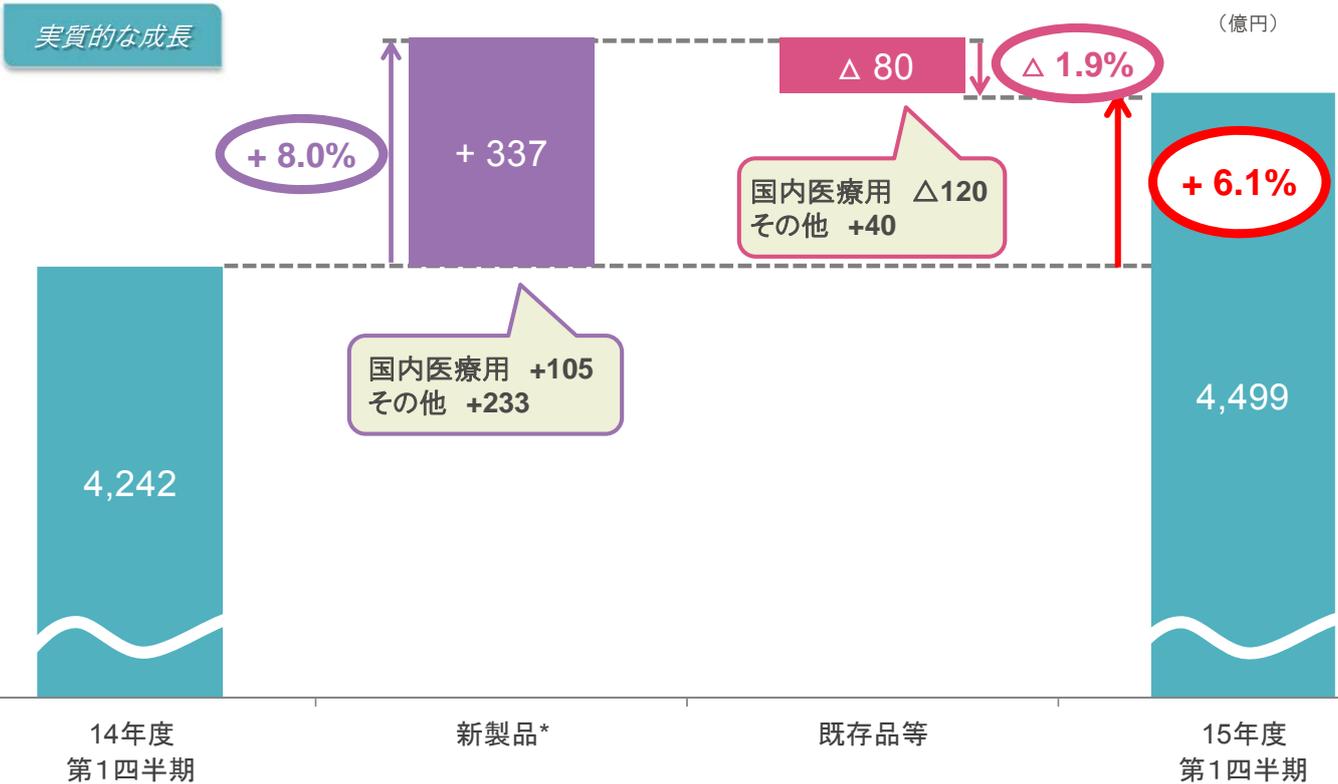


(億円)

	14年度 第1四半期	15年度 第1四半期	成長率
売上収益	4,111	4,463	+ 8.5%
為替影響*	184	40	
製品売却/取得	△ 53	△ 3	
実質的な売上収益	4,242	4,499	+ 6.1%

*同一為替レート換算(1ドル120円、1ユーロ130円)による調整

実質的な売上成長は +6.1%、新製品が成長を牽引



*「新製品」に定義される品目についてはAppendixをご参照ください。

成長を牽引する新製品



実質的な成長

(億円)

	14年度 第1四半期	15年度 第1四半期	実質的な売上成長
エンティビオ	5	161	+155
コルクリス	168	111	△58
アジルバ	97	141	+44
デクスラント	148	188	+40
ロトリガ	19	50	+31
プリンテリックス	27	50	+23
その他	311	412	+101
新製品合計	775	1,112	+337
カンデサルタン	370	226	△144
パントプラゾール	273	247	△26
アミティーザ	77	93	+16
リユープロレリン	298	308	+10
ベルケイド	410	418	+8
その他	2,039	2,093	+54
既存品等合計	3,467	3,387	△80

エンティビオ® 20億ドル以上の売上達成につながる成長

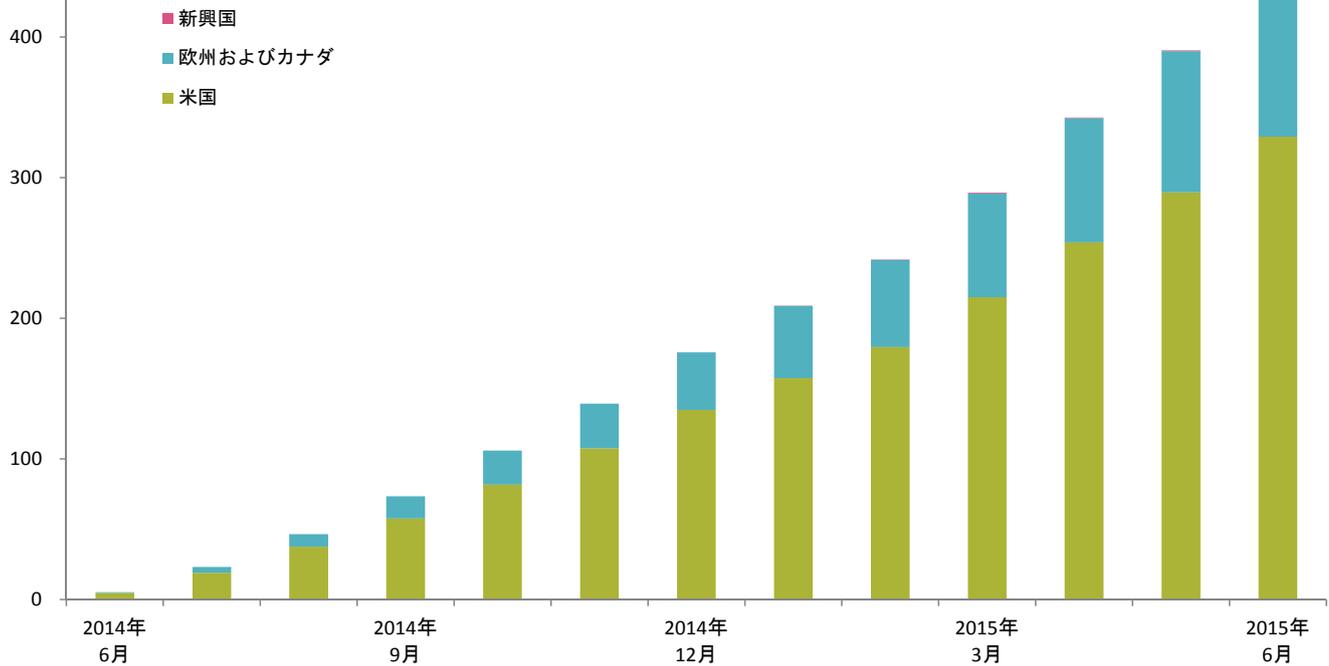


同一為替レート換算のMoving Annual Total(移動通年合計)

売上収益
(億円)

エンティビオ®

(2015年6月末時点において世界19カ国で販売)



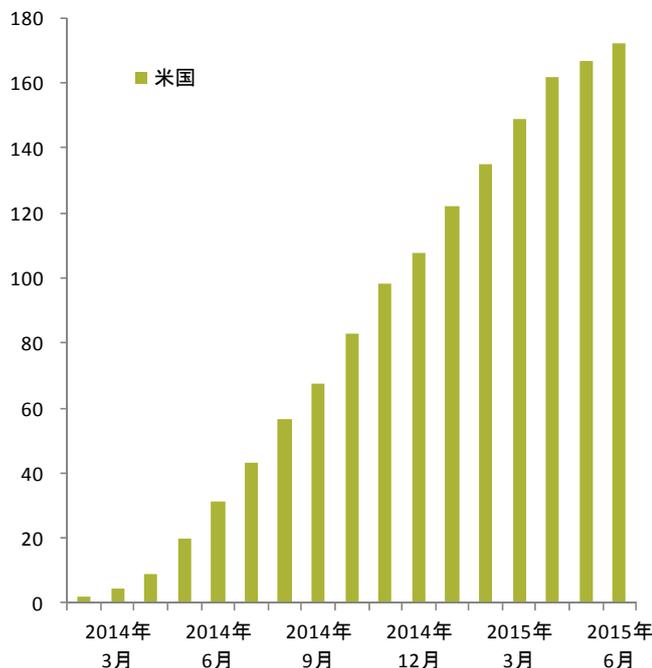
ブリンテリックス®とアドセトリス®の堅調な伸長



同一為替レート換算のMoving Annual Total(移動通年合計)

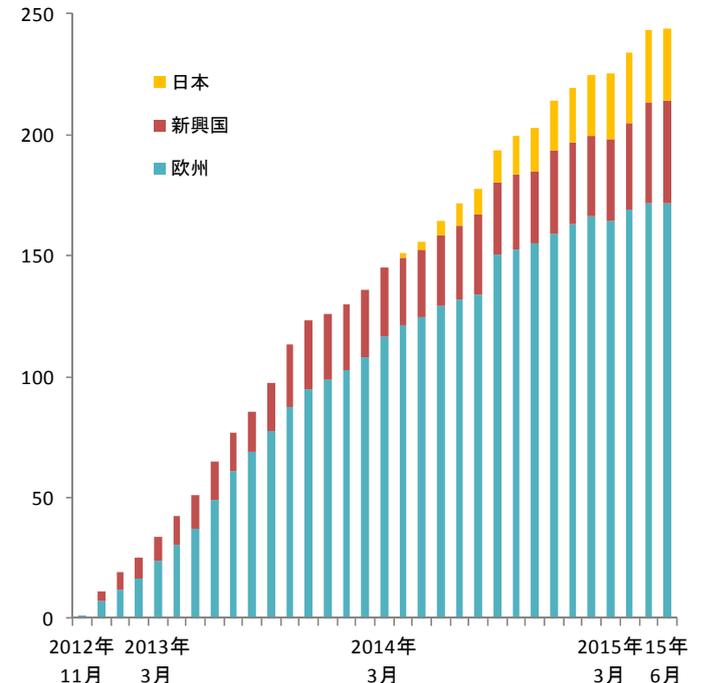
売上収益
(億円)

ブリンテリックス®



売上収益
(億円)

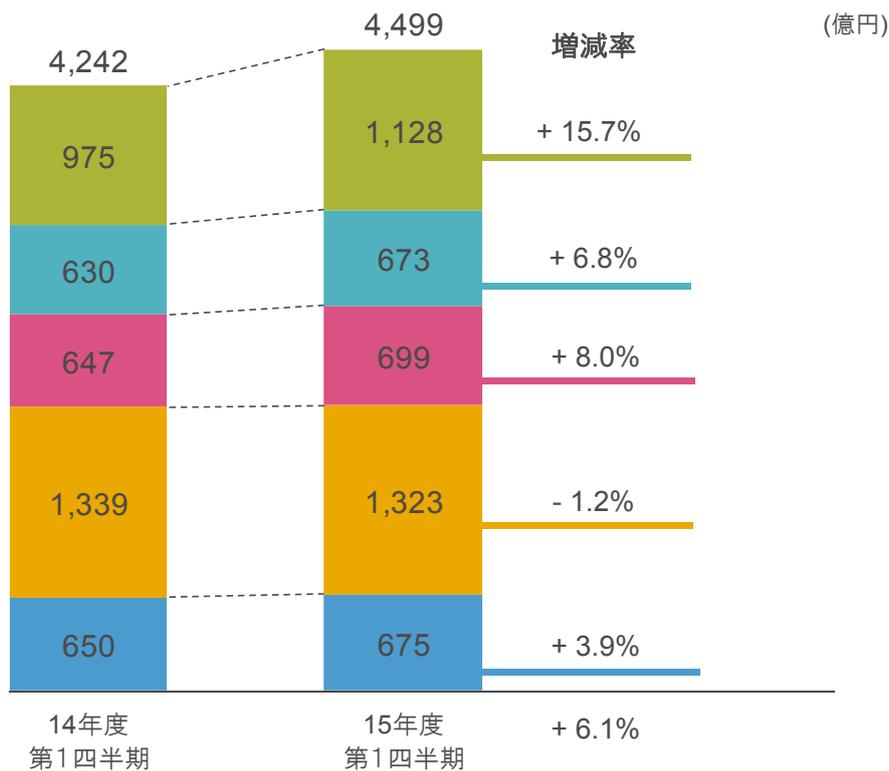
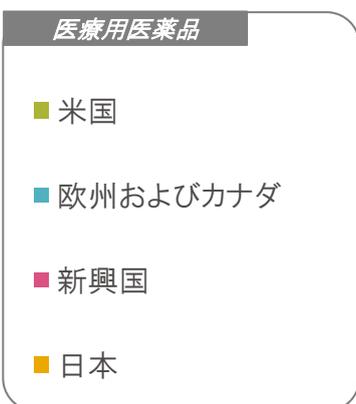
アドセトリス®



米国、欧州および新興国が着実に成長



実質的な成長



*その他には、主としてヘルスケア事業、ライセンス事業等が含まれています。



実質的な成長：Core Earnings と Core EPS

営業利益から実質的なCore Earningsへの調整



	14年度 第1四半期	15年度 第1四半期	(億円) 成長率
営業利益	637	496	△ 22.2%
無形資産の償却費	309	295	
無形資産の減損損失	-	43	
企業買収に係るその他の影響	4	2	
事業、関係会社等の処分	△153	△1	
事業構造再編費用	40	29	
和解金/賠償金および金額の大きい訴訟費用	19	12	
その他の特殊事項に係る損益	△7	△7	
Core Earnings	848	869	+ 2.5%
為替影響*	38	13	
製品売却/取得	△5	△2	実質的な成長率
実質的な Core Earnings	881	879	△ 0.1%

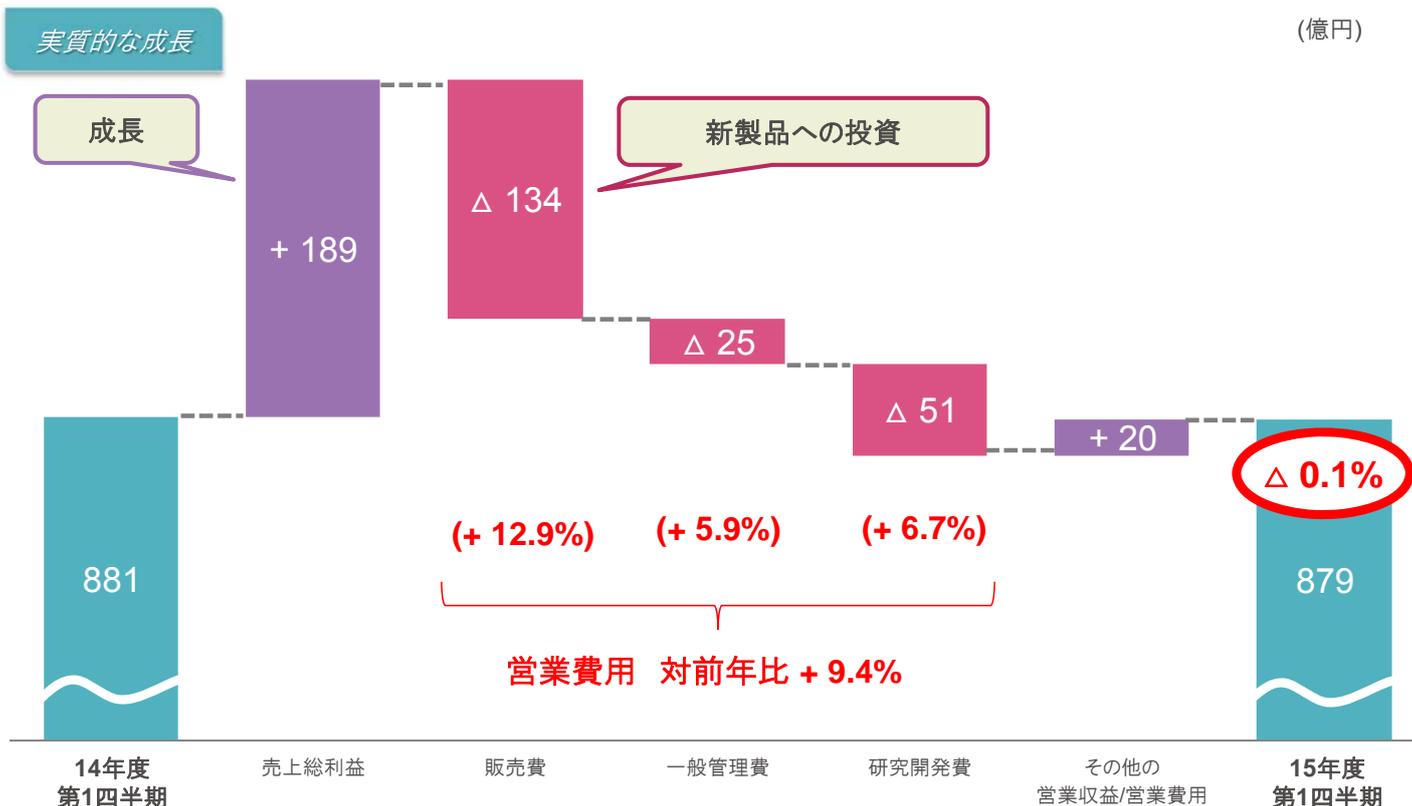
遊休不動産の売却

△ 0.1%

*同一為替レート換算(1ドル120円、1ユーロ130円)による調整

Core Earningsの実質的な成長はフラット

第1四半期の営業費用比率が年間傾向を示すわけではない



四半期利益から実質的なCore四半期利益への調整



	14年度 第1四半期	15年度 第1四半期	(億円) 成長率
四半期利益	334	246	△ 26.4%
EPS	42 円	31 円	△ 26.1%
無形資産の償却費	208	195	
無形資産の減損損失	-	31	
企業買収に係るその他の影響	42	7	
事業、関係会社、その他の処分	△96	0	
事業構造再編費用	29	21	
和解金/賠償金および金額の大きい訴訟費用	12	8	
法人税に係るアクトス影響	-	27	
その他の特殊事項に係る損益	△5	△5	
Core四半期利益	525	530	+ 1.0%
Core EPS	67 円	67 円	+ 1.3%
為替影響*	14	9	
製品売却/取得	△3	△2	
税金に係る一時的要因	44	43	
実質的なCore四半期利益	580	580	実質的な成長率
実質的な Core EPS	74 円	74 円	+ 0.0%

*同一為替レート換算(1ドル120円、1ユーロ130円)による調整



キャッシュ・フローおよびキャッシュ・ポジション

運転資本の継続的な改善により キャッシュ・フロー増加へ



	14年度 第1四半期	15年度 第1四半期	(億円) 増減
四半期利益	343	254	△ 89
減価償却費、償却費及び減損損失	477	490	
運転資本増減	△ 500	△ 195	
法人税等の支払額	△ 151	△ 121	
その他	△ 49	△ 241	
営業活動によるキャッシュ・フロー	120	186	+66
有形固定資産の取得	△ 108	△ 100	
無形固定資産の取得	△ 292	△ 56	
営業フリー・キャッシュ・フロー	△ 280	30	+310
有形固定資産の売却	143	0	
投資有価証券/定期預金の売却又は償還	539	-	
その他	13	△ 48	
投資活動によるキャッシュ・フロー	295	△ 204	△ 499
自己株式取得による支出	△ 160	△ 223	
配当金の支払額	△ 610	△ 625	
その他	△ 23	△ 18	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 793	△ 866	△ 73
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)*	△ 377	△ 883	△ 506

*現金及び現金同等物に係る換算差額による増減は含んでおりません。

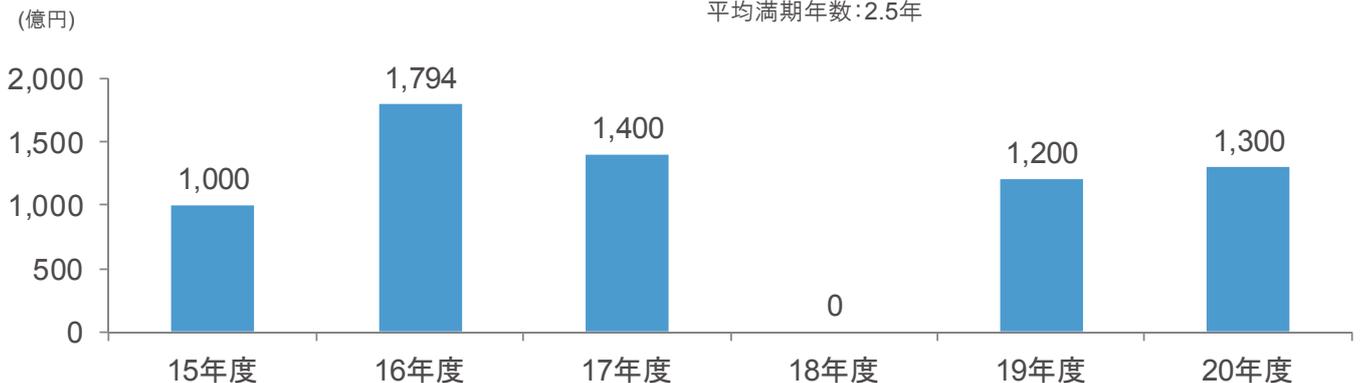
キャッシュ・ポジション



	2015年3月末	2015年6月末
総有利子負債*	6,687	6,687
現金及び現金同等物**	6,572	5,786
ネットキャッシュ/(純有利子負債)	(115)	(901)

[有利子負債*返済スケジュール]

平均満期年数: 2.5年



* 有利子負債は、為替レートをヘッジしたベースでの残高を記載しています。

** 現金及び現金同等物は、期末日から1年以内に償還期限が到来する短期投資を含みます。



Project Summit アップデート

コスト削減策を着実に遂行し、さらに事業効率を向上



2015年度第1四半期 主な取り組み：

- 15年度200億円以上の削減目標に向け、計画通りに推移
- 順調な遂行により、力強い成果を継続して創出
 - 欧州のファイナンスシェアードサービスを4拠点から1拠点へ集約完了
 - デンマークとノルウェーの製造・供給拠点の閉鎖・最適化を実施
 - 欧州・新興国の一部で、組織再構成継続
 - ITサービスのグローバルな管理を実行
 - 購買プロセスを主な地域と分野で展開；
現時点で、武田グループで発生する費用の2/3を管理、
将来的には100%に

第1四半期

50
億円

コスト削減額
(4-6月)

*第1四半期事業構造再編費用:30億円

15年度年間

>200
億円

年間削減目標
(4-3月)



まとめ

2015年度 マネジメントガイダンスに変更なし



2015年度 マネジメントガイダンス

売上収益の
実質的な成長

1桁台前半

Core Earningsの
実質的な成長

売上収益より
高い成長率

Core EPSの
実質的な成長

Core Earningsより
高い成長率



VALUE	<ul style="list-style-type: none">• タケダイズム 患者さん中心 → 社会との信頼関係構築 → レピュテーション向上 → 事業の発展
PEOPLE	<ul style="list-style-type: none">• 患者さんとカスタマー中心• 人材を育成するグローバルで機動的な組織
R&D	<ul style="list-style-type: none">• 集中した世界レベルのイノベーション推進
BUSINESS PERFORMANCE	<ul style="list-style-type: none">• 持続的な売上成長 消化器疾患およびオンコロジーでのリーダーシップ とイノベーティブな新製品 新興国におけるバリューブランドの活用• 成長をもたらす財務規律

2015年度:
長期的な
売上、利益成長に
向けた体制整備



Appendix



Core Earnings

- Core Earningsは、営業利益から、企業買収に係る会計処理、無形資産の償却費・減損損失、事業構造再編費用、主要な訴訟費用などの特殊要因を除いて算定しています。
- Core Earningsの調整項目は次のスライドをご参照ください。

Core EPS

- Core EPSは、当期利益から、Core Earnings算定上除いた項目と同様の性質を有する項目およびこれらにかかる税金影響を除いた利益(Core Net Profit)を基に算定した1株当たり利益です。

Core Earningsの調整項目



営業利益からの調整項目	Note
1 企業買収およびライセンス導入にともない認識した無形資産の償却費	以下にかかる償却費 <ul style="list-style-type: none"> • 企業買収にともない認識した上市後製品に係る無形資産 • ライセンス導入にともない生じる契約一時金およびマイルストーン(ステージアップ・販売承認申請・販売承認取得等)に係る無形資産 • 基盤技術に係る無形資産
2 企業買収およびライセンス導入にともない認識した無形資産の減損損失	以下にかかる減損損失 <ul style="list-style-type: none"> • 企業買収およびライセンス導入にともない認識した無形資産(上市後製品および研究開発中のパイプライン) • のれん
3 企業買収に係る上記以外の会計処理の影響	<ul style="list-style-type: none"> • 棚卸資産の時価評価にともなう評価差額の償却費 • 条件付対価に係る公正価値変動額
4 事業、関係会社等の処分に係る損益	<ul style="list-style-type: none"> • 事業、関係会社、遊休不動産および有価証券(*)の処分に係る損益 • (*)有価証券の処分に係る損益は金融損益であるため、Core純利益での調整項目
5 事業構造再編に関する費用	<ul style="list-style-type: none"> • 事業統合費用 • 導入費用
6 訴訟に係る和解金/賠償金および金額影響の大きい訴訟費用(弁護士費用)等	<ul style="list-style-type: none"> • ピオグリタゾン製剤に起因する製造物責任訴訟費用(弁護士費用)等
7 定常的なビジネスに関連しない特殊な事項に係る損益	<ul style="list-style-type: none"> • 自然災害等の、会社の制御を超えて発生する管理不能な損益 • 製品回収にかかる費用 • 政府補助金 • 法人所得税の還付金等

新製品の定義



2009年以降に当社が発売を開始した主要な製品（既存品の剤型変更や合剤を除く）を「新製品」としています。

製品名	発売年月*	薬効	主な適応症
1 デクストラント	2009/2	プロトンポンプ阻害薬	酸関連疾患
2 ユーロリック	2009/3	非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害薬	痛風・高尿酸血症
3 ネシーナ	2010/6	DPP-4阻害薬	2型糖尿病
4 ベクティビックス	2010/6	ヒト型抗EGFRのモノクローナル抗体	進行・再発の結腸・直腸癌
5 レミニール	2011/3	アセチルコリンエステラーゼ阻害薬／ニコチン性アセチルコリン受容体増強薬	アルツハイマー型認知症
6 アジルバ	2012/5	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬	高血圧症
7 コルクリス	2012/6	抗痛風薬	痛風発作
8 アドセトリス	2012/11	CD30 モノクローナル抗体薬物複合体	再発・難治性のホジキンリンパ腫
9 ロトリガ	2013/1	EPA/DHA製剤	高脂血症
10 プリンテリックス	2014/1	多重作用メカニズム型抗うつ薬	大うつ病
11 エンティビオ	2014/6	ヒト化抗α4β7インテグリンモノクローナル抗体	潰瘍性大腸炎、クローン病
12 コントレイブ	2014/10	μオピオイド受容体拮抗薬・ドーパミン/ノルエピネフリン再取込阻害薬	肥満症
13 タケキャブ	2015/2	カリウムイオン競合型アシッドブロッカー	酸関連疾患
14 ザファテック	2015/5	DPP-4阻害薬	2型糖尿病

* 世界市場において当社が最初に発売を開始した年月を表示しています。

為替レート



実勢レート(損益計算書に適用の為替レート)

(円)

	14年度		15年度	
	USD	EUR	USD	EUR
4月	103	141	120	130
5月	102	141	119	130
6月	102	138	124	136

公表予想レート

(円)

	15年度	
	USD	EUR
7月—3月	120	130
(参考) 4月—3月平均	120	130

1%為替円安影響(7月—3月)

(億円)

	15年度				
	USD	EUR	RUB	CNY	BRL
売上収益	40	15	4	6	3
営業利益	△5	△4	3	1	1
Core Earnings	1	1	3	1	1

新興国事業の売上成長



実質的な成長

